

『第5回伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業』



市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表11人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、平和記念式典に参加して世界中から集まった多くの方々と、「午前8時15分」に世界の平和を祈りました。

また、被爆された方のお話を聞かせていただいたり、平和記念資料館などの施設見学を通じて、世界平和への思いをかみしめるとともに、原爆孤児を主人公とした演劇を鑑賞し、「生きる」ということについても思いを新たにしました。

参加した生徒のレポートからヒロシマの様子をお伝えします。

広島派遣：平成21年8月5日(水)、6日(木)

■行程

- 5日 ～ 被爆体験講話聴き取り
平和記念公園見学
原爆の子の像へ千羽鶴捧げ
広島平和記念資料館見学

- 6日 ～ 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)参加、
平和演劇鑑賞

【被爆体験講話聴き取り】



川本さんの話からは原爆の恐ろしさや悲しみが伝わってきました。たくさんの命と未来を奪った戦争を人間が起こしてしまったのだから、その過ちを二度と繰り返さない事、そして決して忘れない事が僕達人間の責任だと思いました。

成和中学校 東瀬清也さん

====

私は、川本さんの話を聞いて、もう二度と戦争をしてはいけないと、改めて感じる事ができました。私ができることは、家族や友達に、この戦争の悲惨さや命の大切さを伝えていくことだと思いました。

島ヶ原中学校 川西李奈さん

【原爆ドーム】



ぼくは原爆ドームを初めてそばで見て、あらためて原爆の恐ろしさを実感しました。この建物が64年前までは普通に建っていたと思うと、とても恐ろしいと思いました。この原爆ドームは、戦争や原爆の恐ろしさを今に伝えてくれる建物だと思いました。

城東中学校 一路侑杜さん

====

原爆ドームは、テレビや教科書で見るとより迫力があり、私たちに戦争の無意味さ、原爆の恐ろしさを無言で訴えているような気がしました。

私たちは、この悲惨な戦争を決して忘れてはいけなと感じました。

青山中学校 久木崎ひかるさん

【原爆の子の像】



原爆の子の像のところには、全国から集まった千羽鶴が所狭しと飾られていました。中でも、「PEACE」の文字が目立ち、全ての鶴一羽一羽から世界平和を求める気持ちが伝わってきました。僕達も平和への祈りをこめて千羽鶴を捧げました。

丸山中学校 小松 源さん

====

私達は、原爆の子の像に千羽鶴を捧げました。伊賀市からの鶴もたくさんありましたが、像の前に捧げられていた鶴は、想像以上に多かったです。本当に多くの人が心から平和を願っているということ、強く感じました。

阿山中学校 辻森 萌さん

【広島平和記念資料館】



平和記念資料館には当時の資料がたくさんありました。その中で一番驚いたのが、被爆当時の人々を表した人形です。

原爆が必要のない平和な世界を、自分たちで築いていかなければならないと思いました。

緑ヶ丘中学校 佐野凌太さん

====

平和記念資料館の中には、当時の様子が模型で再現されており、多くの写真や遺留品などが展示されていました。原爆を体験していない私たちにもその辛さや苦しみが感じられ、必ず争いのない平和な世界を築いていかなければならないと思いました。

柘植中学校 中原美瑛さん

【平和記念式典】



平和記念式典では、世界中から参列した多くの人々に圧倒されました。そして、平和への願いが、いかに強いかを感じ、二度と戦争をしてはいけないと心に誓いました。そして、永久に平和であることを強く願います。

崇広中学校 安川功恭さん

私は平和記念式典に参加しました。ここでは、世界中の人が来ていました。話をきく中で、64年たった今も戦争の酷さは消えません。家族や学校、地域の人々に話をきいたことや感じたことを発信していきたいと思います。

大山田中学校 廣島あゆみさん

====

平和記念式典では、いろいろな国の人たちが集まっていて、「平和」についてすごく真剣に考えているんだと感動しました。私もまずは自分の周りの平和をつくっていくことが大切ではないかと思いました。

霊峰中学校 山本真由さん